

授業計画

1年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	救急医学特論	救急医学では、救急疾患による呼吸器系、循環器系、神経・内分泌系、免疫系、代謝系などの生体反応に注目し、全身状態の確保と診断を迅速に行い、適切な治療を行うことが必要であり、これらの病態解明と制御についての基礎および臨床研究を行うことで、臨床的に意義のある知見を得ることを目的とする。また、研究実施に向けて、批判的吟味や研究手法についても学ぶ。	真弓	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	救急科専門医養成講座	安全かつ安心な質の高い救急医療を提供するため、救急医学およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の3つの資質を修得する。 1) 十分な救急医学領域、および関連領域の専門知識と技量とコミュニケーションスキル 2) 常に進歩する医療・医学に即して適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、安全・安心な診療を提供する態度	真弓	カンファレンス ルーム

2年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	救急医学特論	救急医学では、救急疾患による呼吸器系、循環器系、神経・内分泌系、免疫系、代謝系などの生体反応に注目し、全身状態の確保と診断を迅速に行い、適切な治療を行うことが必要であり、これらの病態解明と制御についての基礎および臨床研究を行うことで、臨床的に意義のある知見を得ることを目的とする。また、研究実施に向けて、批判的吟味や研究手法についても学ぶ。	真弓	カンファレンス ルーム
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	救急医学演習	救急疾患の病態解明と制御について研究するための研究手法を学び、さらにその意義と問題点を理解し、その手技を演習を通して取得する。	真弓	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	救急医学実習	救急医学において広い見地に立った研究を遂行できるよう、専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。	真弓	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	救急科専門医養成講座	安全かつ安心な質の高い救急医療を提供するため、救急医学およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の3つの資質を修得する。 1) 十分な救急医学領域、および関連領域の専門知識と技量とコミュニケーションスキル 2) 常に進歩する医療・医学に即して適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、安全・安心な診療を提供する態度	真弓	カンファレンス ルーム

3年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	救急医学演習	救急疾患の病態解明と制御について研究するための研究手法を学び、さらにその意義と問題点を理解し、その手技を演習を通して取得する。	真弓	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	救急医学実習	救急医学において広い見地に立った研究を遂行できるよう、専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。	真弓	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	救急医学論文指導	様々な研究手法を用いて得られた結果を原著論文としてまとめ、救急疾患の病態解明と制御について総合的に理解する。	真弓	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	救急科専門医養成講座	安全かつ安心な質の高い救急医療を提供するため、救急医学およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の3つの資質を修得する。 1) 十分な救急医学領域、および関連領域の専門知識と技量とコミュニケーションスキル 2) 常に進歩する医療・医学に即して適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、安全・安心な診療を提供する態度	真弓	カンファレンス ルーム

4年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	救急医学実習	救急医学において広い見地に立った研究を遂行できるよう、専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。	真弓	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	救急医学論文指導	様々な研究手法を用いて得られた結果を原著論文としてまとめ、救急疾患の病態解明と制御について総合的に理解する。	真弓	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月	第3	金曜	4限	救急科専門医養成講座	安全かつ安心な質の高い救急医療を提供するため、救急医学およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の3つの資質を修得する。 1) 十分な救急医学領域、および関連領域の専門知識と技量とコミュニケーションスキル 2) 常に進歩する医療・医学に即して適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、安全・安心な診療を提供する態度	真弓	カンファレンス ルーム